



広島西ロータリークラブ会報

THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA WEST

No. 2017

例会日・木曜日 12:30~13:30
 例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
 会長 田中 健志
 幹事 金本 善行

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
 リーガロイヤルホテル広島13F
 TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
 E-mail:hwrc@godorc.gr.jp
 広島西ロータリー <http://www.hwrc.jp/>

RIテーマ Building Communities Bridging Continents
「地域を育み、大陸をつなぐ」

本年度会長テーマ
「ロータリーを楽しもう」

「世界理解月間」

2011年2月17日 第1993回例会

◆ 会長時間 ◆

田中会長



2月11日に西南ロータリークラブ主催の「新世代のためのフォーラム」が広島県民文化センターでありました。会場は大ホールに9割方の入場者で、一般市民の反響が大きかったようです。ロータリー財団奨学生としてオーストリアに留学された小林良子さんのソプラノとバイオリン演奏とピアノ演奏でした。何れの曲も誰もが知っている曲でしたが、作曲家の人となりやその曲の内容、作詞・作曲された背景やエピソード等が私には新鮮で、素晴らしい演奏会でした。

2月12日は紫友会の予定でしたが雪の為中止となりました、私自身は一日中久しぶりにのんびりできました。翌日の13日は鈴峯インターアクトクラブの高校生とスキーに行きました。道路もスキー場も大変な積雪量で、40年近くスキーをしていますが、これほどの積雪は久しぶりです。吉島タクシーのバスもチェーンをしているのにも拘らず動けなくなり、除雪車に2度も牽引してもらったほどでした。

台南ロータリークラブから2月28日のメンバー

リストが届きました。25名来広されます。1988年の最初の交流から、27回目の交流となります。27日のお迎えと28日の調印式への御参加をよろしくお願ひします。

☑️ パストガバナー諏訪昭登

昨年、広島西RC創立40周年記念式典に列席された姉妹クラブの台南RCの蘇清緑氏から私宛にいただいた揮毫を表装しましたので、ご披露します。

なお、文章の意味は当クラブ米山奨学生の張化さんをお願いして、解説していただきました。有り難うございました。



“揮毫”

広島西RC創立40周年2010年3月
 台南RC蘇清緑氏より賜る
 広島西RC、パストガバナー諏訪昭登宛

「念慈祥、可以醞釀爾間和；寸心潔白、可以昭垂百世清」

⇒以下では、この句の意味を説明するものである。「氣」というのは、学術的にいえば、中国思想界

から生み出したものである。宋朝の哲学者張横渠によれば、「気というのは、実在するものであり、気の集散を通じてさまざまな現象が起こされる」と主張している。この主張によれば、人間も気によって生まれたものであり、人間における差別も人々が受ける気が異なるからであると理解することができる。逆にいえば、人々が異なる気を受けするため、日常生活において、調和がとれている気があれば、争いもせず、平和がとれている気もある。このような気を「和氣」という。中国では、この「和氣」について、「天地有和氣 就如春風應育 高物得生」という諺がある。すなわち、天地に「和氣」があれば、春の風が吹いてきたように、万物が育てられる。一方、「和氣」を損ねると、酷い風や雨が災害をもたらすように万物をぶち壊す恐れがある。天候には「春、夏、秋、冬」という四季が存在するように、人間には「喜、怒、哀、楽」という情緒の表現がある。「喜、怒、哀、楽」が存在することは、人が受ける「気」の相互作用によって生じた結果である。人がどのような気を受けるのかは、人の心によってコントロールされる。そのため、「仁慈」は「和氣」の形成を促進する。そのカギとなるものは、人の心である。人の心は大きいものではないが、世の中の大きな災害は全部心によってもたらしたものである。そのため、前人は人の「心計」を「心撃」と見ており、「心学」について多く語ってきた。我々はただ前人から伝わってきた「心学」をまねするのではなく、その奥にあるものを学ばなければならない。現在の人々は、「冷静」になっていても、歴史的な慣行により、「冷静」から「冷淡」へと変わる。「冷淡」という気持ちは、秋の到来を意味する。ある人は、「和氣」という環境を破り、春を終わらせようと図っているのではないのか。

● 会務報告 金本幹事

※BOXに新会員候補の照会が入っておりますので、よろしくお願ひします。

※2月24日卓話延長のご案内、クラブ改正のご案内（クラブ定款(案)・クラブ細則(案)配布）、3月31日休会のご案内、4月14日夜間例会変更のご案内

※先週例会でお願ひした拉致被害者家族連絡会に

対する支援金に33,100円の浄財が集まりました。ご協力ありがとうございました。

※2010年手続要覧が届きましたので、ご注文された方のBOXに配布しております。

※2011-12年版ロータリー手帳をご希望の方は、回覧にて注文をとりまとめますので、記入をお願いします。

● 委員会報告

出席報告 森脇副委員長

本日(2月17日・木曜日)			
会員数	83名	出席者	73名
欠席者	10名	ご来客	4名
ご来賓	1名	ゲスト	1名
			計
			79名
前々回(2月3日・木曜日)			
			出席率 100%



※新世代・インターアクト委員会 中岡委員長

2月13日(日)、恒例の鈴峯学園インターアクトクラブの皆さんとの日帰りスキーツアーが行なわれました。

鈴峯から先生5名・3年生1名・1年生9名、広島西RCから6名の総勢21名でサイオトスキー場に行ってきた。

吉島タクシーのバスでの往路、大雪で立往生しましたが、運良く除雪車が通りかかり、引っ張ってもらい何とかスキー場に到着しました。

雪は新雪で転んでも痛くなく、皆さんスキーを満喫し、無事広島に戻って来ました。

ご協力ありがとうございました。



集合写真



積雪



牽引中

● 同好会報告

紫友会 鈴木世話人

2月例会は雪によるゴルフ場クローズの為中止となりました。

尚、例会の景品は5月の遠征の費用の一部に変えさせていただきます。

どうかご理解いただきますようお願い申し上げます。

次回例会は、3月12日(土)広島ゴルフ倶楽部鈴ヶ峰コースにて行ないます。

● スマイルボックス

SAA 堀江副委員長

☺ 諏訪昭登君 (自主申告) 金一封

前方に掲示しているのは2010年3月、わがクラブの創立40周年に際して姉妹クラブの台南RC、蘇清緑さんからいただいた私宛ての揮毫を掛軸に表装したものです。皆さんにご披露いたします。

☺ 安部憲明君、梶川博君、瀬尾誠君 (自主申告)

ダブル

わが西ロータリークラブのオリジナルネクタイを貰い受け、それぞれスマイルボックスに出宝いたしました。

☺ 森信秀樹君 (2月17日 中国新聞)

来月1日、中国新聞ビルで「TPPを考える」シンポジウムが開催される広告が載っておりますが、森信君がパネリストとして参加されます。論客ぶりを大いに期待しております。

☺ 河本剛君 (2月17日 広島経済レポート)

「オフタイム」欄に登場され、趣味の映画鑑賞について語っておられます。アクション、SF、サスペンス、それに車が出てくる映画も好きだそうです。愛車の遍歴も披露しておられます。映画のように、ぶっ飛ばさないように願います。

■ 卓 話

中国地方の 経済情勢等について

中国財務局長

吉村 宗一氏



○中国地方の経済情勢

中国地方の経済情勢 (22年10-12月) につきましては、

「一部に厳しい状況がみられるものの、緩やかに持ち直している」としており、前期 (22年7-9月期) の判断を据え置いております。

主な項目について特徴的な点を申し上げますと、

生産活動は、鉄鋼が中国国内での在庫過剰感などから、一部で生産調整の動きがみられるなど弱含んでいるものの、化学はアジアを中心とした海外需要が堅調なほか、自動車も北米向けなどが持ち直していることから、全体としては横ばい傾向となっています。なお、前期の「持ち直しに一服感がみられる」から「このところ横這い傾向になっている」と表現は変更していますが、基調判断は据え置いております。

22年度の設備投資は、当局が調査しています「法人企業景気予測調査 (22年10-12月期)」結果では、製造業、非製造業ともに前年度を上回る見込みとなっております。

雇用情勢は、有効求人倍率が低水準ながらも緩やかな改善傾向にあることなどから、「厳しい状況にあるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている」として、前期の判断を据え置いております (3期連続)。

個人消費は、大型小売店販売では気温の低下から季節商品などに動きがみられるなど、緩やかながら持ち直しの動きがみられており、コンビニエンスストア販売も緩やかに増加しております。一方で、乗用車販売はエコカー補助金の終了により減少しております。こうしたことを踏まえ、「一部に弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている」として、前期の判断を据え置いております (2期連続)。

22年度の企業収益は、当局が調査しています「法人企業景気予測調査 (22年10-12月期)」結果では、製造業が引き続き増益見込みで、非製造

業も増益に転じる見込みであり、全産業で増益の見込みとなっております。

輸出は、金額ベースで見ますと、自動車が北米向けを中心に持ち直しているほか、化学製品や船舶などが増加していることから前年を上回っております。

先行きについては、海外経済の改善などを背景に景気が持ち直していくことが期待される場所です。

○金融機関による中堅・中小企業のアジア地域等へ支援体制・対応状況

新成長戦略（22年6月18日閣議決定）の実現に向けて、金融庁が昨年12月に公表した「金融資本市場及び金融産業の活性化等のためのアクションプラン」の主な施策として、「金融機関による中堅・中小企業のアジア地域等への進出支援体制の整備・強化」が掲げられていますが、その実情等を把握するため、本年1月に、管内の中小企業等や地域金融機関に対してヒアリング調査を行いました。

まず、管内経済の特徴をみると、全国に比べて製造業の割合が高く、GDPに対する輸出入の割合も高いほか、輸出額については、アジア地域向けが5割強を占めており、うち中国向けが大幅に増加している状況にあります。

こうした中、企業が海外進出にあたり金融機関から受けた支援は、現地取引先や会計士等の紹介、法律等に関するアドバイス、融資などですが、企業からは、このような支援を評価する声があるものの、都銀に比べ情報量が少ないとの声や、ビジネスに役立つ情報提供や海外進出にあたってのサポートを望む声があります。

他方、金融機関においては、こうした企業ニーズに応えるため、海外拠点の設置（4銀行、13拠点）や海外金融機関等との連携を進めているほか、国内機関等の活用やセミナーの開催などにより、取引先企業の海外進出を積極的に支援することとしています。

また、金融機関は、取引先企業の海外進出の増加や進出意欲の高まりに対して、体制整備の充実が課題であると認識しており、今後は、JETRO等他機関との連携や人材育成などにより、支援体制の充実を図ることとしています。

略 歴

よし むら そう いち
吉 村 宗 一

- 生年月日 昭和32年2月7日
- 出身地 京都府
- 学 歴 京都大学(経済) 54年3月卒
- 資 格 国家公務員試験(上級) 54年採用
- 昭和54年4月 大蔵省入省(理財局資金第一課)
- 58年4月 大蔵省大臣官房調査企画課調査主任
- 59年5月 在アルゼンティン日本国大使館二等書記官
- 62年7月 大蔵省国際金融局調査課課長補佐
- 平成元年7月 " 近畿財務局理財部次長
- 2年11月 " 大臣官房付兼総務庁行政管理局企画調整課
- 4年4月 大蔵省大臣官房秘書課課長補佐
- 4年7月 " 国際金融局為替資金課課長補佐
- 5年7月 アジア開発銀行理事代理
- 8年7月 大蔵省銀行局保険部保険第一課調査室長
- 9年7月 日本たばこ産業(株)企画グループ経営企画部部長
- 11年7月 国土庁計画・調整局特別調整課長
- 13年7月 金融庁監督局保険課長
- 14年7月 預金保険機構金融再生部審議役
- 16年7月 財務省関東財務局総務部長
- 17年7月 " 大臣官房地方課長兼財務総合政策研究所次長
- 18年7月 預金保険機構金融再生部長
- 19年7月 財務省福岡財務支局長
- 20年7月 米州開発銀行アジア事務所長
- 22年4月 財務省財務総合政策研究所次長
- 22年7月 " 中国財務局長

● 卓話予告

日時	テ ー マ
3/3(木)	創立記念夜間例会